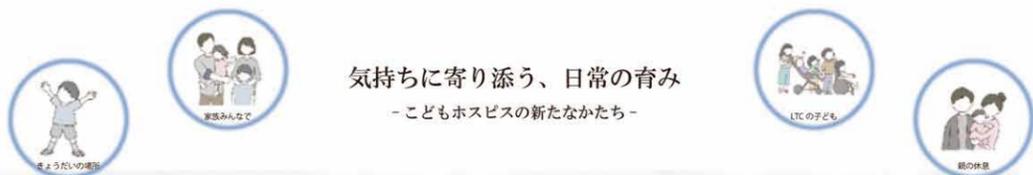


# 名城大学建築同窓会会報

●発行/2024年4月1日 ●編集/名城大学建築同窓会会報委員会

No.152



気持ちに寄り添う、日常の育み  
-こどもホスピスの新たなかたち-



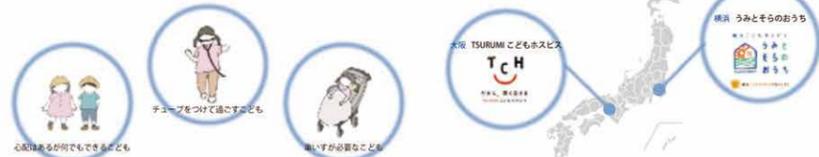
医療が発達し、多くの子どもたちの命が救われるとともに、子どもとその家族の心のケアも必要である。  
病気を抱えた子どもやその家族にとって「こどもホスピス」が日常的なものになることで、  
まち全体で支える基盤になり全ての子どもたちの成長に彩りをもたらす。

「生きる」を支える、こどもホスピス

●こどもホスピス  
生命を脅かす病気 (Life-threatening conditions=LTC) と呼ばれる小児がんなどの病気や、  
重い障害を抱えた子どもとその家族が、サポートを受けながら生活を通すことができる、  
子どもの成長・発達を支える場所。  
病気を診断された後や一時退院の時などに、家族で利用される。生命を脅かす病気  
ではあるが、常に危険な状態ではないので、生活を楽にわたるために利用される。

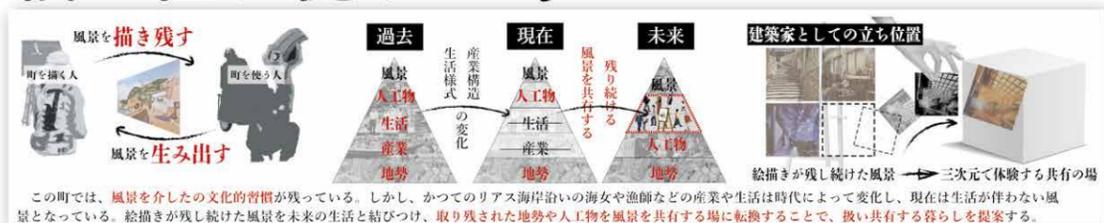
日本のこどもホスピス

日本には、LTCのこどもが全国に約2万人いるとされている中で、病院から独立した  
こどもホスピスは2箇所しかない。  
たとえ、残された時間がわずかであっても、子どもと家族が少しでも豊かな時間になるように、  
病気を抱えた子どもを理解し、子どもたちに寄り添える場所が日本に多く普及されるべきであ  
ると考える。



優秀賞(日本建築学会巡回作品) 都築 萌 気持ちに寄り添う、日常の育み -こどもホスピスの新たなかたち-

## 絵に住み続ける町 -絵から導く風景との暮らしの提案-



優秀賞(愛知建築士会提出作品) 坂井 優太 絵に住み続ける町 -絵から導く風景との暮らしの提案-

## たけ池で巡環する

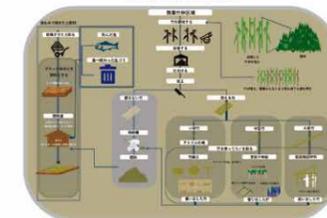
~肥料作成から始まる7次産業を通して、洲原の環境・産業を守り、育て、創り、学んでいく場の提案~



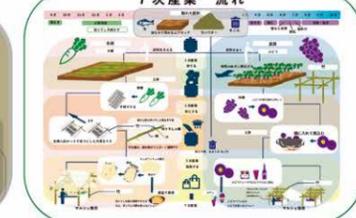
竹で常設空間を繋げる



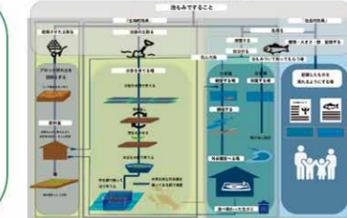
竹再利用の流れ



7次産業 流れ



ため池改善の流れ



最優秀賞(雑誌『近代建築』別冊掲載作品)

たけ池で巡環する  
~肥料作成から始まる7次産業を通して、洲原の環境・産業を守り、育て、創り、学んでいく場の提案~ 古本 安澄

## INDEX

|                    |                    |                 |
|--------------------|--------------------|-----------------|
| 会長・学科長あいさつ……………1・2 | 建築学科教職員……………5      | 令和5年度事業計画……………8 |
| 情報交流会……………3        | 就職情報……………6         | 令和5年度予算……………8   |
| 令和5年度就職支援企画……………3  | 令和4年度事業報告……………7    | 会則……………9        |
| 支部だより……………3・4      | 令和4年度決算報告……………7    | 表紙・裏表紙解説……………10 |
| キャンパスニュース……………5    | 令和4年度決算監査報告書……………7 | 令和5年度役員……………10  |

## 会長あいさつ



建築同窓会会長

**鈴木 千春**

(昭和54年卒)

建築同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。又、日頃より同窓会活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により同窓会活動や学内行事への参加も見合わせざる状況が続いておりましたが、昨年は建築同窓会が発足し60年という節目の年を迎えるにあたり、中断されていた情報交流会を11月11日(土)に開催することが出来ました。また、学内では寺西先生が日本建築学会賞を受賞されるという喜ばしい出来事もありました。寺西先生に置かれましては、情報交流会の場で「コンクリートの調合設計の近代化+建設3Dプリンティングの現状と展望」という題目で講演をしていただきました。又、一昨年より取り組んでいます建築学科の3年生を対象に、学生の就職支援に繋がる同窓会主催による建築分野別説明会も6月24日(土)に開催することが出来ました。ゼネコンや設計事務所等で活躍されているOB・OGの方6名に参加していただき、学生との意見交換を通じ業務の内容等熱心に聞き入る姿を見て、今後は多くの学生に参加してもらえるよう企画していきたいと感じました。

本年におきましては、6月9日(日)の通常総会に向け新たな体制作りと学内行事への参加と支援、情報交流会や就職支援活動の継続に向け取り組んでいきたいと思っております。

又、大学のクラブ活動では女子駅伝部では全日本大学女子駅伝対校選手権で優勝し7連覇を達成、12月の全日本大学女子選抜駅伝競走でも優勝し6連覇し2冠を達成・硬式野球部は愛知大学野球連盟の秋のリーグ戦で優勝されています。又東海地方の高校生に人気の大学ランキングでは1位になるなど多方面に渡る活躍や評価を得る大学となっております大変誇らしく思っております。

同窓会活動も会員の方のみならず、多くの学生が参加できる企画を増やし今後の同窓会活動が今まで以上に発展できるよう会員の皆様と取り組んでいきたいと思っております。

最後に会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念致しまして私からの挨拶とさせていただきます。



## 学科長あいさつ



建築学科長(令和6年4月より)

**武藤 厚**

名城大学建築同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より学科の諸活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私、本年4月より学科長を拝命いたしました。12年前に学科長の際は学科の活動場所が4号館(現・緑地)から現在の研究実験棟Ⅱに移動の時期でしたが、建物が替わっても更に前進すべく務めていく所存です。

はじめに学科の人事等についてご報告いたします。昨年度から萩原拓也先生が都市計画学の分野で活動を開始され、早速研究成果をあげておられます。さて、4月から建築構造学の分野で市之瀬敏勝先生の後任として張天昊先生をお迎えします。張先生のご専門は建築構造学の中の空間構造分野であり、特に展開構造や情報デザイン分野に関する研究で国際的な成果をあげておられます。張先生には今後、教育・研究面での一層のご活躍を期待しています。なお、市之瀬敏勝先生は昨年度より4年間の予定で特任教授として引き続き研究を継続されています。

喜ばしい出来事として、昨年度は寺西浩司先生が日本建築学会賞(論文)を受賞されました。受賞対象のご研究や新たな研究活動については昨年度の建築同窓会情報交流会でも講演がなされましたが、益々のご活躍が期待されます。さて、同窓会主催の企画として3年生を対象とした建築分野別の業界セミナーが6月に開催されました。開催2回目で恒例となりつつある本セミナーは、学生の就職支援に関わる活動です。当日ご参加いただきました皆様はこの場を借りて、お礼申し上げます。なお、同セミナーに参加した学生は、建築の各分野でご活躍されている会員の皆様のお話を熱心に聞いていました。とても良い機会だと思いますので、今後とも引き続き開催いただけますようお願い申し上げます。学科からのお知らせですが、昨年も多くの学生が学会や設計競技等で優れた賞を受賞しています。研究室と外部との共同プロジェクトも活発になされ各方面で公開されました。詳しくは学科ホームページで紹介していますのでご覧いただければ幸いです。

大学志願者数減少という入試全体の状況は変わりませんが、建築学科の受験者数は堅調でした。また、就職に関しては最近の建設業全体の人材不足により堅調を維持しています。

末尾となりましたが、同窓会を始めとする本学建築学科にご関係の皆様方の今後のますますのご発展とご健康を祈念し、学科長の挨拶とさせていただきます。

## 令和5年度情報交流会

「母校との絆」を合言葉に、去る2023年11月11日(土)名城大学天白キャンパスにて、第26回建築同窓会情報交流会を4年ぶりに開催いたしました。講演会では建築学会賞を受賞された名城大学理工学部建築学科教授 寺西浩司先生により「コンクリートの調合設計の近代化+建設3Dプリンティングの現状と展望」というテーマでご講演を頂きました。多くのメリットがある3Dプリンティング技術及び3Dプリンターを用いたモルタルの積層実験等の研究については、特に参加者の興味が惹かれている様子が見られました。

建築同窓会事業・経済委員会



## 令和5年度就職支援企画

昨年に引き続き2023年6月24日には建築同窓会主催の就職支援企画「OB・OGから聞く建築業界のわかりやすい見かた」を開催いたしました。この企画は各分野で活躍する先輩方にご参加頂き、携わる仕事の内容や体験談、質疑応答などを通して、学生が希望する仕事への具体的なイメージを持てるようにと企画したイベントですが、多くの学生に参加頂き、とても良い雰囲気での対話の様子が見られました。

今後におきましても卒業生のみならず、学生との交流が図れる場として色々な趣向を凝らした有意義な会、企画を実行したいと考えますので、ご支援、ご協力をお願いします。



## 支部だより

### 『東三河支部』だより

東三河支部 支部長 山本 利州 (昭和 37 年卒)

『この半世紀設計業務の変化について』

今も長引くコロナ感染・経済衰退の状況。

こんな中支部会員皆頑張っていますが、残念ながら支部活動も停止状態で報告事項もなく心苦しい気持ちです。

今回は私事ですが…昭和37年卒業、昭和41年建築士取得し建築にロマンを求めて、この年に設計事務所を開設して今年58年目に突入しました。

振り返ってみますと、この間経済状況の変化に伴って建築の仕事の内容も大きく変わりました。

最初は新築建物の設計及び監理(とてもロマンのあった仕事)

→個人住宅建築(大量生産) →耐震診断設計 →既設建物の改修工事

→これからは建物の維持管理と大きく変わってきました。

我々建築に携わる者として、これから地球空間にどのように立ち向かっていくのか?

建築家として空間作りの原点に心を向ける必要があるのではないだろうか。

私は後少しですが『建築が好き』なので最後まで若者と一緒に仕事をしたい。と思っています。

### 『MJ友の会』だより

MJ友の会 幹事 藤原 美菜子 (平成 7 年卒)

1999年の「兵庫県支部」に始まり、「関西支部」となり15年…

関西支部は、2023年度の総会で一旦解散し…

「MJ友の会」として再出発致しました。

名の通り、在住地域を問わず・気軽に・楽しい交流の機会を増やすことを目指しています。

各地のイベントや同行の誘い合いなどの情報交換にLINEの活用も始まりました。

5月26日(日・三ノ宮)、7月27日(土・六甲山)と、懇親会を開催する予定です。

気軽に楽しくおしゃべりしませんか?

参加ご希望の方は下記までご連絡ください。

MJ友の会 幹事

藤原 美菜子(平成7年卒業・旧姓:山田)

m.fujihara@equation.co.jp



▲舞子ピラ神戸にて明石海峡大橋を背景に

▲明石海峡大橋にて

### 『岐阜支部』だより

建築同窓会岐阜県支部組織委員 清水 敏生 (昭和 46 年卒)

“天災は忘れなくてもやって来る。”

元日の夕方に能登半島を襲ったMG7.5の地震は、建物倒壊・津波・大規模火災・液状化・地盤隆起など大災害をもたらして、今なお一万五千人の方が避難所生活を強いられている。

240人をこえる死者はその40%が建物倒壊による圧死と報じられている。

半島特有の山地地形と崩壊による道路寸断が救助活動・物資輸送の支障になったことや、各県・市から応援に駆け付けた消防車両などが交通遮断に遭い、被災地への到着が遅れたため救助活動に支障を来したことが報道されていた。

- 災害発生時には、国による人工衛星・航空機等を駆使した被害状況・交通状況の把握と関係機関への情報伝達が直ちに実施されるシステムの構築が必要であると痛感した。
- 生活再建支援金の給付、税や保険料の免除、応急仮設住宅入居などに必要な罹災証明書の交付手続きを担う自治体職員(輪島市の行政職員数は280人とのこと)が不足しており、多くの自治体からの応援職員が派遣にも拘わらず発行に一月以上を要すると聞く。

応急危険度判定時において罹災証明用調書を作成し、罹災証明発行の簡素化・迅速化を図ることはできないだろうか。

応急危険度判定は被災建物の二次被害(倒壊・構造物の落下など)から人命を守るための応急的処置であり、罹災証明書交付時における被害認定(全壊・半壊の区分け)とは異なるものであるが、迅速化と人手不足解消の手段として一考に値すると思う。

- 地震発生から一カ月が経過するが、完成した仮設住宅は18戸のみと聞く。

三月末までに石川県内で1300戸が仮設住宅へ入居可能とされているが、実需要の9千戸にはほど遠い状況だ。

仮設住宅建設の支障となる大きな原因の一つは適地の確保であろう。

そこで、日頃から各市町村(または広域)で防災空地を確保しておけば、災害発生時には建設地や自衛隊の救援拠点にも活用するなど迅速な対応が期待できるのではないかと。

- 建物倒壊による死者を減らすためにも耐震改修の促進は重要であるが、改修が進まない事情の一つに地域の高齢化、過疎化があることも報じられている。

そこで、改修方法の一つとして、診断評価点数1.0以上とする現行の改修制度に加えて、出入口に近い一室のみをシェルター式に木材・鉄骨材などで補強することにより、倒壊による圧死を防ぐ安価な改修方法(高齢者世帯を対象)も考えるべきではないかと。高齢者の住宅に数百万円の改修工事は、かなりハードルが高いのではないかと。

住宅の耐震化率の全国平均87%に比較して、珠洲市51%(2018年)、輪島市45%(2022年)の数字が、このことを如実に物語っている。地震発生を予知できる科学的技術の達成にはまだ相当の時間を要するが、これらの地道な努力が今後の地震発生時における被害を抑制する効果となることを切に希望する。

思いのままに能登半島地震被害雑感として寄稿しました。

当支部でも会員の高齢化が進み会員が減少していますが、昨年6月29日に4年ぶりに支部総会を開催しました。

安井副会長、安田副会長に来賓としてご出席いただき、17名の出席でしたが久しぶりの再開に皆さん満足して帰られました。

今年も総会を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

お酒に酔って写真を撮り忘れたため、寄稿できなかったことをお詫びします。

(記載した数値は原稿作成時のものです。)

## キャンパスニュース

### 令和5年度 名城大学建築学科 学科賞受賞者

| 卒業研究部門       |        | 卒業制作部門      |         |
|--------------|--------|-------------|---------|
| 最優秀論文賞(工学分野) | 今井 駿貴  | 優秀論文賞(工学分野) | 小杉 梓恩   |
| 〃            | 山田 唯叶  | 〃           | 高田 泰佑   |
| 最優秀論文賞(計画分野) | 吉本 達哉  | 〃           | 花村 明郁   |
| 優秀論文賞(工学分野)  | 坂上 海渡  | 〃           | 安田 愛美   |
| 〃            | 浅野 猛   | 〃           | 安田 雪乃   |
| 〃            | 天野 海紀  | 優秀論文賞(計画分野) | 大久保 日葉里 |
| 〃            | 石黒 琢麻  | 〃           | 山本 梨乃   |
| 〃            | 大野 聡汰  | 〃           | 渡邊 匡登   |
| 〃            | 小川 航太郎 |             |         |

## 建築同窓会賞

建築同窓会は、学部卒業生及び大学院修了生の優秀者に建築同窓会賞を贈り表彰しています。受賞者は、各研究室が表彰候補者を選出し、学科より同窓会に推薦して決定しました。下記の受賞者には、学位記授与式にて建築同窓会会長より表彰状を授与します。

### 令和5年度同窓会賞受賞者

|                   |                        |            |
|-------------------|------------------------|------------|
| 大枝 拓真(生田研)        | 喜多村 晃成+高木 玲香(高井研)      | 中川 結賀(三浦研) |
| 佐々木 健斗(石井研)       | 楠 流星(高橋研)              | 平賀 駿吾(武藤研) |
| 井上 かほ(大塚研)        | 谷口 鈴花(谷田研)             | 村下 和生(吉永研) |
| 杉浦 仁香+日紫喜 華乃(岡田研) | 木全 嶺斗+近藤 圭汰+杉浦 英樹(寺西研) | 吉本 達哉(米澤研) |
| 秋山 友希(佐藤研)        | 宇田川 純加(松田研)            |            |

## 建築学科教職員

| 教 授 | 建 築 計 画 | 生 田 京 子   | 准 教 授 | 建 築 構 造 | 大 塚 貴 弘   |
|-----|---------|-----------|-------|---------|-----------|
| 〃   | 環 境 設 備 | 石 井 仁     | 〃     | 建 築 計 画 | 佐 藤 布 武   |
| 〃   | 環 境 設 備 | 岡 田 恭 明 ○ | 〃     | 建 築 構 造 | 高 橋 広 人   |
| 〃   | 建 築 計 画 | 高 井 宏 之   | 〃     | 建 築 計 画 | 谷 田 真 ○   |
| 〃   | 建 築 材 料 | 寺 西 浩 司   | 〃     | 建 築 構 造 | 張 天 昊     |
| 〃   | 建 築 構 造 | 武 藤 厚     | 〃     | 建 築 計 画 | 萩 原 拓 也   |
| 〃   | 環 境 設 備 | 吉 永 美 香   | 〃     | 建 築 材 料 | 平 岩 陸     |
| 〃   | 環 境 計 画 | 吉 久 光 一   | 〃     | 建 築 構 造 | 松 田 和 浩   |
|     |         |           | 〃     | 歴 史 意 匠 | 三 浦 彩 子 ○ |
|     |         |           | 〃     | 歴 史 意 匠 | 米 澤 貴 紀   |

2024年4月1日現在 ○印は名城大学卒業生(あいうえお順)

## 名城大学建築同窓会ホームページのご案内

名城大学建築同窓会ではホームページを随時更新しております。新鮮な建築同窓会活動の状況やキャンパス内の様子などの情報を配信しております。情報発信のツールとして同窓会、建築学科、学生の皆さまにさまざまな情報の橋渡しができるよう充実させていきたいと思っておりますので多くの皆様へアクセスしていただきますようお願い申し上げます。

建築同窓会 名城大 検索

建築同窓会 会報・名簿・IT委員会

## 就職情報

### 就職・進路の動向

寺西 浩司 (就職・進路支援委員)

#### 1.はじめに

建設関連業界の求人状況は、このところずっと売り手市場で推移してきましたが、本年度は、建設業界の深刻な人手不足を背景として、売り手市場の傾向が一気に加速しました。印象としては、バブル期に匹敵するほどの「超売り手市場」の様相を呈しています。大手ゼネコンの求人票に提示されている新卒の初任給が今年になって大幅に引き上げられたことがこの状況を象徴的に表しています。このような状況の中で、2024年3月卒業の学生は、スーパー大手のゼネコンをはじめとして、昨年度よりもランクの高い企業に就職できたように思います。

#### 2.就職・進路の動向

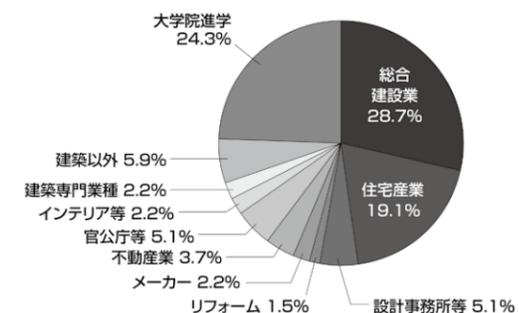
建築学生の就職先は年によって大きく変化するわけではありませんが、その中でも、2024年3月卒業の学生の進路は次の2つの点で特徴的でした。一つは、大学院に進学する学生が増えたことです。他大学への進学も含まれますが、昨年度の進学率が16%であったのに対し、本年度は24%であったので、昨年度に比べて1.5倍になったといえます。名城大学の建築学科の場合、これまで、同レベルの大学と比べて大学院進学率が低く、学科として、進学率を上昇させるための努力を重ねてきました。進学率はまだ十分とはいえないので、今後もさらに大学院の魅力を向上させていきたいと考えています。

また、もう一つの特徴的な点は、住宅産業に就職する学生が目に見えて減少した点です(昨年度は全体の26%であったのに対し、本年度は19%)。総合建設業に就職した学生数は昨年度と変わりませんでしたので(昨年度、本年度ともに全体の29%)、このことに関しては、大手ゼネコンに好条件で就職しやすい状況が影響している可能性があります。

#### 3.最近の就職活動の特徴

就職活動のスケジュールが年々早期化・長期化していくことは今や当たり前のようになってしまっていますが、本年度も、昨年度に比べて就職活動のスケジュールがさらに全体的に前倒しされた感がありました。大学の様々な就職行事もそれに合わせて前倒して開催されるようになってきていますが、状況の変化に追いつけていないように思います。そういった中で、建築同窓会には、夏季インターンシップの申込み時期であり、就職活動の実質的な開始時期である6月に就職支援企画を開催して頂きました。今後、このような企画がうまく育っていくことを祈念しています。

なお、本年度からインターンシップのルールが変更され、従来からの1dayのインターンシップに加えて、夏休みに、採用直結型の5日間のインターンシップを開催する企業が多くなっています。就職活動に熱心な学生ほどこのタイプのインターンシップに参加することになりますので、3年生は、ますます就職活動に時間を取られるようになってきています。この状況は、早期に企業の様子をより詳しく知ることができる点ではよいのですが、どうしても就職活動が間延びしてしまい、学業にとっても決してよいこととはいえません。大学の立場としては、このような形での就職活動については今後一度きちんと見直してほしいと思っています。



2024年3月卒業の学生(学部)の就職先(暫定修正結果)

## 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

- 総務委員会
  - 各委員会連絡・調整  
役員会開催、学内行事協議について役員に対し日程連絡、各担当および学内幹事様との打合せ・調整を実施いたしました。
  - 役員会開催 令和4年度 計6回の役員会を開催いたしました。
  - 建築学科講演会等への協力支援を実施いたしました。
  - 学位記授与式に祝金供出、参加支援をしました。
- 財政委員会
  - 会費振込依頼  
令和4年4月4日  
1年生オリエンテーションにて会費振込依頼  
プライバシーポリシーによる学生に名簿作成を依頼  
令和4年10月11日  
令和3年度卒業生へ会費振込依頼発送 52通  
令和4年10月18日  
4年生・保護者様へ会費振込依頼発送 64通  
令和4年10月21日  
3年生・保護者様へ会費振込依頼発送 106通  
令和4年10月26日  
2年生・保護者様へ会費振込依頼発送 116通  
令和4年11月 1日  
1年生・保護者様へ会費振込依頼発送 122通  
令和5年 1月26日  
会員・新会員へ会費振込依頼発送 390通  
令和5年 3月24日  
2年生・3年生・4年生ガイダンスにて会費振込依頼
  - 令和4年4月4日  
同窓会費重複者に会費返納(2年生3名、3年生1名、計4名)
  - 会費納入のお礼状を発送  
新規永年会員(4通)、年会費納入会員(68通)  
会費納入学生会員・保護者様・卒業生(90通)
- 事業・経済交流委員会
  - 令和4年11月19日(土) 就職支援企画開催(天白キャンパス)  
OB・OGの所属する企業、業務内容の説明+質疑応答
  - 次回情報交流会ほか学生参画型行事の企画を立案、検討。
- 会報・名簿・IT委員会
  - 建築同窓会会報(150号-A4版)を2,000部発行。
  - 卒業生・在校生用に建築学科に会報を1,000部寄贈。
  - 名簿の追加、訂正。
  - ホームページの更新。
- 組織委員会
  - メール交換、WEB会議、書面採決などを含め、役員会・総会等を開催した支部に対して活動支援金を支出しました。  
・中国支部 :役員会・開催  
通常総会:5月27日(金) / せとうち料理 ざっそうあん せと(下地前会長 出席)  
・関西支部 :役員会・開催  
通常総会:10月2日(日) / 和空法隆寺  
・岐阜県支部:役員会・開催  
通常総会:5月下旬 / 書面採決



## 令和4年度決算報告

(単位:円)

| 項目      | 予算額       | 決算額       | 備考                       |
|---------|-----------|-----------|--------------------------|
| 会 費     | 690,000   | 324,000   | 年会費68名(うち新規0名)、R04永年会員4名 |
|         | 900,000   | 900,000   | 学生会員会費(R03卒含む)90名        |
| 事業収入    | 400,000   | 0         |                          |
| 援助金     | 280,000   | 326,500   | 理工同窓会援助金                 |
| 寄付金     | 10,000    | 0         | 協賛金等                     |
| 雑収入     | 1,000     | 18        | 利子(元帳+各委員会)等             |
| 収入合計(A) | 2,281,000 | 1,550,518 |                          |

(単位:円)

| 項目            | 予算額       | 決算額       | 備考                   |
|---------------|-----------|-----------|----------------------|
| 総務委員会         | 540,000   | 250,000   |                      |
| 学科支援金         | 300,000   | 250,000   | 建築学科への支援金            |
| 会議費           | 120,000   | 0         |                      |
| 交際費           | 40,000    | 0         |                      |
| 運営費           | 80,000    | 0         |                      |
| 財政委員会         | 210,000   | 252,078   |                      |
| 郵送費           | 100,000   | 71,400    | 会費振込依頼、お礼状発送費        |
| 印刷費           | 50,000    | 98,750    | 同窓会封筒等印刷             |
| 運営費           | 60,000    | 81,928    | オンライン等報告会、備品費、振込手数料等 |
| 事業・経済交流委員会    | 430,000   | 0         |                      |
| 情報交流会費        | 400,000   |           | コロナのため活動停止           |
| 事業費           | 20,000    |           |                      |
| 運営費           | 10,000    |           |                      |
| 会報・名簿・IT委員会   | 840,000   | 685,609   |                      |
| 印刷費           | 350,000   | 499,400   | 会報等案内印刷              |
| 郵送費           | 290,000   | 0         | 会報郵送等                |
| 名簿調査作成費       | 50,000    | 50,000    | 名簿調査                 |
| HP管理費         | 140,000   | 135,289   | ドメイン更新、HPメンテナンス      |
| 運営費           | 10,000    | 920       | 通信費、備品費等             |
| 組織委員会         | 210,000   | 100,450   |                      |
| 支部支援費         | 110,000   | 60,000    | 中国、関西、岐阜支部           |
| 旅費交通費         | 60,000    | 40,020    | 中国支部総会旅費             |
| 運営費           | 40,000    | 430       | 振込手数料                |
| 予備費           | 51,000    |           |                      |
| 支出合計(B)       | 2,281,000 | 1,288,137 |                      |
| 当期収支差額(A)-(B) |           | 262,381   |                      |

(単位:円)

| 令和4年度期首財産(令和4年4月1日)前年度繰越金  |           |           |
|----------------------------|-----------|-----------|
| 周年事業積立金(H25～R03)           | 1,700,000 | 3,786,072 |
| 活動準備金                      | 2,086,072 |           |
| 令和4年度期末財産(令和5年3月31日)次年度繰越金 |           |           |
| 周年事業積立金(H25～R03)           | 1,700,000 |           |
| 周年事業積立金(R04)               | 0         | 4,048,453 |
| 次期活動準備金                    | 2,348,453 |           |

## 令和4年度決算監査報告書

名城大学建築同窓会令和4年度収支決算報告書並びに通帳、帳簿、領収書等により監査したところ適正であることを認めます。

令和5年5月31日

監事 岡野 廣海

監事 山中 弘

## 令和5年度事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- 総務委員会
  - 学内行事並びに学位記授与式には学生会員に対して援助を実施。
  - 会議の開催  
・通常総会開催 令和5年6月11日(日)午前9時30分～10時20分  
天白キャンパス共通講義棟北館 N502教室  
・役員会開催 役員会を随時開催するほか、WEB活用・メール連絡にて役員間の連携強化を図る。  
・評議員会開催 今年度の開催は中止とする。議案については書面にて承認をいただく。  
・正副会長会議 当面、WEB・書面にて連絡・調整を図ることとする。
  - 学内各行事への協力支援・協賛等で、同窓会と学内の連携、協調を図る。  
・先生方との連絡体制の充実を図り、役員会との調整・対応を強化していく。
  - 慶弔に関する事務
- 財政委員会
  - 前年に引き続きガイダンスにて学生会員へ会費の納入をお願いする。
  - 同窓会として会費の納入と共に1年生にプライバシーポリシーによる学生の名簿も充実する取り組みをする。
  - 会員への年会費納入案内を発送する。  
60歳以上の会員の方に永年会費のご案内並びに納入をお願いする。
  - 学生会員・保護者様へ会費納入案内を発送する。
  - 卒業生(令和4年度)へ会費納入案内を発送する。
  - 会費納入会員へお礼状ハガキを発送する。
  - 財政委員会を年2回程度、開催する。
- 事業・経済交流委員会
  - 令和5年6月24日(土)  
名城大学天白キャンパスにて就職支援企画を開催予定。
  - 令和5年11月に情報交流会開催を予定。
- 会報・名簿・IT委員会
  - 建築同窓会会報(151号-A4版)を1,700部発行。
  - 卒業生・在校生用に建築学科に700部寄贈。
  - 郵送希望会員、会費納入者に郵送。  
28回生(S56卒)、33回生(S61卒)含む。
  - 名簿の追加、訂正。
  - ホームページの更新。
- 組織委員会
  - WEB会議、書面採決なども含め、役員会・総会等を開催した支部に対して活動支援金を支出。  
・中国支部…通常総会:6月7日(水)開催予定  
・関西支部…通常総会:5月28日(日)開催予定  
・岐阜県支部…通常総会:6月29日(木)・30日(金)開催予定
  - 状況に応じて開催される各支部の総会へ参加。  
・中国支部…通常総会:6月7日(水)開催予定  
・関西支部…通常総会:5月28日(日)開催予定  
・岐阜県支部…通常総会:6月29日(木)・30日(金)開催予定
  - メール交換等も含め、必要に応じて各支部及び委員会内での意見交換・連絡調整。
  - 同窓会の各行事が開催されることとなった場合には、これに参加。

## 2024年 建築同窓会総会のご案内

令和6年度の建築同窓会の総会を下記により開催いたします。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

●と き 2024年 6月 9日(日)

●ところ 名城大学 天白キャンパス内

9:30～建築同窓会総会 共通講義棟南館S504

10:30～記念講演会 共通講義棟北館 名城ホール

11:55～理工同窓会総会 共通講義棟北館 名城ホール

13:00～懇親会 タワー75 15階レセプションホール

詳細につきましては、下記の理工同窓会ホームページにおいてもごらんになれます。

理工ホームページmeijyo-rikou-dousokai.jp/

## 令和5年度予算

(単位:円)

| 項目      | 予算額       | 備考                            |
|---------|-----------|-------------------------------|
| 会 費     | 690,000   | 年会費3,000円×180名 永年会費30,000円×5名 |
|         | 900,000   | 学生会員会費 10,000円×90名            |
| 事業収入    | 400,000   | 情報交流会参加費等                     |
| 援助金     | 300,000   | 理工同窓会援助金                      |
| 寄付金     | 10,000    | 協賛金等                          |
| 雑収入     | 1,000     | 利子(元帳+各委員会)等                  |
| 収入合計(A) | 2,301,000 |                               |

(単位:円)

| 項目            | 予算額       | 備考                  |
|---------------|-----------|---------------------|
| 総務委員会         | 540,000   |                     |
| 学科支援金         | 300,000   | 建築学科への支援金           |
| 会議費           | 120,000   | 評議員会、役員会、正副会長       |
| 交際費           | 40,000    | 他会お祝い金、慶弔費          |
| 運営費           | 80,000    | 通信費等                |
| 財政委員会         | 210,000   |                     |
| 郵送費           | 100,000   | 会費振込依頼、お礼状発送費       |
| 印刷費           | 50,000    | 同窓会封筒等印刷            |
| 運営費           | 60,000    | オリエンテーション、ガイダンス等打合せ |
| 事業・経済交流委員会    | 430,000   |                     |
| 情報交流会費        | 400,000   | 情報交流会会場費等           |
| 事業費           | 20,000    | 見学会、講演会等            |
| 運営費           | 10,000    | 備品費等                |
| 会報・名簿・IT委員会   | 840,000   |                     |
| 印刷費           | 350,000   | 会報等案内印刷             |
| 郵送費           | 290,000   | 会報郵送等               |
| 名簿調査作成費       | 50,000    | 名簿調査                |
| HP管理費         | 140,000   | ドメイン更新、HPメンテナンス     |
| 運営費           | 10,000    | 通信費、備品費等            |
| 組織委員会         | 210,000   |                     |
| 支部支援費         | 110,000   | 中国、関西、岐阜、名古屋支部      |
| 旅費交通費         | 60,000    | 各支部総会旅費             |
| 運営費           | 40,000    | 振込手数料等              |
| 予備費           | (71,000)  |                     |
| 支出合計(B)       | 2,301,000 |                     |
| 当期収支差額(A)-(B) | 0         |                     |

(単位:円)

| 令和5年度期首財産(令和5年4月1日)前年度繰越金 |           |           |
|---------------------------|-----------|-----------|
| 周年事業積立金(H25～R04)          | 1,700,000 |           |
| 周年事業積立金(R04)              | 0         | 4,048,453 |
| 次期活動準備金                   | 2,348,453 |           |

## 第27回 情報交流会開催(予定)のご案内

第27回情報交流会を開催(予定)いたします。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

●と き 2024年11月 9日(土) (予定)

●ところ 名城大学 天白キャンパス内

第26回情報交流会を4年ぶりに開催することができました。会員各位のご協力に感謝いたします。

第27回は上記の日程で予定しております。詳しくは建築同窓会HPにてご案内します。

名城大学建築同窓会 事業・経済交流委員会

# 名城大学建築同窓会会則

## 第1章 総 則

- (名称)  
第1条 本会は名城大学建築同窓会と称する。
- (事務所)  
第2条 本会の事務所は名城大学理工学部建築学科内に置く。
- (支部)  
第3条 1. 本会は役員会の承認を得て原則として地域単位とする支部を設置することができる。  
2. 支部細則は必要に応じ役員会の議決を経て設けることができる。
- (目的)  
第4条 本会は会員相互の親睦を図ると共に地域社会への貢献、文化の振興を図り名城大学及び名城大学建築学科の隆盛発展に寄与することを目的とする。
- (事業)  
第5条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。  
1. 会員名簿の整備  
2. 会報の発行及びホームページに会報の情報掲載  
3. 懇親会、見学会、講演会及び研究会等の開催。  
4. 学生会員に対する援助  
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

## 第2章 会 員

- (組織)  
第6条 本会は会員、特別会員、名誉会員を以て組織する。
- (会員の資格)  
第7条 本会会員となる資格は次の各項の定めるところによる。  
1. 会 員 (1) 名古屋専門学校応用物理建築分科卒業生。  
(2) 名城大学理工学部建設工学科建築分科卒業生。  
(3) 名城大学理工学部建築学科卒業生。  
(4) 名城大学大学院工学研究科建築学専攻修了生。  
(5) 名城大学大学院理工学研究科建築学専攻修了生。  
(6) 前(1)～(5)項に籍を置く者で役員会で承認した者は会員に準ずる。  
2. 名誉会員 本会に功勞のあるもので総会の承認するもの。  
3. 学生会員 前1項の(3)、(4)在籍者。  
4. 特別会員 名城大学理工学部建築学科の教職員。  
5. 賛助会員 個人または団体で本会の事業を賛助するもので評議員会の承認を得たもの。
- (会費)  
第8条 1. 年会費は3,000円とする。納入した会費は返却しない。  
2. 60才以上の会員が永年会費30,000円を納入した場合は、以降の年会費を免除する。  
3. 学生会員は、卒業後5年迄の会費10,000円を納入する。

## 第3章 総 会

- (総会の召集)  
第9条 1. 通常総会は毎年1回事業年度終了後3ヵ月以内に会長が召集する。  
2. 臨時総会は評議員会または役員会で必要と認めるとき会長が召集する。
- (総会の通知)  
第10条 総会の召集はその2週間前までに日時・場所を認めた文書、又は校友会会報をもって会員及び名誉会員に通知しなければならない。
- (総会の議決事項)  
第11条 総会では次の事項を議決する。  
1. 事業報告、収支予算ならびに財産目録の承認に関する事項。  
2. 事業計画及び予算に関する事項。  
3. 重要な財産の取得、処分に関する事項。  
4. 評議員会、役員会で必要と認めた事項。  
5. 評議員会における選出役員を承認する事項。
- (総会の議決)  
第12条 1. 総会の議事は出席会員の過半数の同意で成立する。  
2. 議事の議決同意が可否同数の時は議長が決める。  
3. 総会の議長は出席会員の中から選任する。
- (議事録)  
第13条 1. 議長は総会の議事について議事録を作らなければならない。  
2. 議長は議事録署名人名を出席会員の中から選任する。

## 第4章 役員及び会議

- (役員)  
第14条 1. 本会には次の役員を置く。  
(1) 名誉会長 1名 (7) 常任幹事 若干名  
(2) 会 長 1名 (8) 委員長 専門委員会  
(3) 副会長 6名以内 (9) 会 計 1名(補佐1名)  
(4) 監 事 2名  
(5) 支 部 長 各支部1名  
(6) 学内幹事 若干名  
2. 本会には相談役及び参与を置くことができる。  
相談役は役員会に諮って会長が推薦する。  
参与は本会の役員であった者の中から会長が推薦する。  
相談役、参与は本会の諮問に応ずる。
- (役員の出選)  
第15条 1. 会長、副会長、会計、監事は評議員会の推薦により選出する。  
2. 名誉会長は建築学科長がこれにあたる。  
3. 支部長は支部を構成する正会員のうちから選出する。  
4. 学内幹事は学内の会員及び特別会員の中から互選により選出する。  
5. 常任幹事は会長の推薦により会員の中から選出する。
- (役員の職務)  
第16条 1. 会長は本会を代表し会務を総理し評議員会役員会等の議長となる。  
2. 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその職務を代理する。  
3. 支部長は支部を代表し支部の会務を掌理する。  
4. 学内幹事は学科内の意見を集約し会との疎通を図る。  
5. 常任幹事は会長の補佐として各事業を援助する。  
6. 委員長は各専門委員会を代表し、委員会の会務を掌理する。  
7. 会計は本会の会計事務を行う。

8. 監事は年1回以上本会の事業及び会計監査を行いその結果を総会に報告する。
- (役員任期)  
第17条 1. 役員任期は2年とする。  
2. 補欠による役員任期は前任者の残任期間とする。  
3. 役員は再任を妨げない。  
4. 役員は任期中に退任しようとするときは評議員会の承認を必要とする。
- (役員会)  
第18条 1. 役員会は本会の運営を円滑にするための執行機関である。  
2. 役員会は名誉会長、会長、副会長、監事、各支部長、常任幹事、学内幹事、各委員長、会計、会計補佐によって構成する。尚 相談役、参与については会長が必要に応じ出席を求める。  
3. 役員会は役員過半数の出席をもって会議が成立し、出席者の過半数の同意がなければ議決することができない。尚出席出来ない時は委任状を議長宛に提出し、議決権を行使することができる。
- (専門委員会)  
第19条 1. 専門委員会は第4条の目的と第5条の事業を円滑に達成するために評議員及び会員の中から若干名を選出し、これを構成する。  
2. 専門委員会は次による。  
(1) 総務委員会 (5) 組織委員会  
(2) 財政委員会 (6) その他必要となる委員会  
(3) 事業・経済交流委員会  
(4) 会報・名簿・IT委員会

## 第5章 評議員及び評議員会

- (評議員)  
第20条 1. 本会会員の卒業年度の代表として評議員を選出する。  
2. 評議員は評議員の推薦による、又は各期会員の中から選出する。
- (評議員の任期)  
第21条 1. 評議員任期は2年とし、再任を妨げない。  
2. 評議員が欠けた場合の補充評議員の任期は前任者の残任期間とする。
- (評議員会)  
第22条 1. 評議員会は役員及び各期評議員で構成し会長が必要と認めた場合に会長がこれを招集する。
- (評議員会の開催)  
第23条 1. 評議員会は定例評議員会と臨時評議員会とする。  
2. 定例評議員会は、毎年総会の1箇月前とする。  
3. 臨時評議員会は役員会で必要と認めるとき、または評議員の3分の1以上の要請があったときに開催する。  
4. 評議員会の招集は議案を付して10日前までに通知しなければならない。
- (評議員の議決)  
第24条 1. 評議員会においての議事の議決は総会に準ずる。
- (評議員の審議事項)  
第25条 1. 評議員会の審議事項は、次の各号に定めるところによる。  
2. 総会の付議事項に関すること。  
3. 役員選出に関すること。  
4. その他必要と認める重要事項。
- (基本資産)  
第26条 基本資産は会費、寄付金及び助成金でこれを構成する。  
(経費の支弁)  
第27条 本会の経費は基本資産ならびに事業から生ずる収入でこれを支弁する。(事業年度)  
第28条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。  
(特別会計)  
第29条 本会に特別会計を設けることができる。

## 第7章 雑 則

- 第30条 本会則は総会の議決によって変更することができる。  
第31条 本会には会務運営及び第5条の事業遂行のために必要な委員会及び部会を設けることができる。

## 附 則

- (1) 本会則は、昭和38年9月22日より施行する。  
(2) 昭和45年 9月14日会則一部改正及び訂正施行する。  
(3) 昭和51年 8月 7日会則一部改正施行する。  
(4) 昭和57年 9月12日会則一部改正及び訂正施行する。  
(5) 昭和60年 9月 8日会則一部改正及び訂正施行する。  
(6) 平成元年 9月17日会則一部改正及び訂正施行する。  
(7) 平成 5年 9月18日会則一部改正及び訂正施行する。  
(8) 平成 6年 9月25日会則一部改正及び訂正施行する。  
(9) 平成 7年 9月24日会則一部改正施行する。  
(10) 平成 8年 9月21日会則一部改正及び訂正施行する。  
(11) 平成10年 9月20日会則一部改正及び訂正施行する。  
(12) 平成12年10月 1日会則一部改正及び訂正施行する。  
(13) 平成13年 9月30日会則一部改正及び訂正施行する。  
(14) 平成18年 9月10日会則一部改正及び訂正施行する。  
(15) 平成19年 9月30日会則一部改正及び訂正施行する。  
(16) 平成20年 9月28日会則一部改正及び訂正施行する。  
(17) 平成23年 6月19日会則一部改正及び訂正施行する。  
(18) 平成28年 6月12日会則一部改正及び訂正施行する。



表紙：雑誌「近代建築」別冊掲載作品(古本 安澄)

私の地元である愛知県刈谷市北部地域の現状として、「ため池」環境を維持する「池もみ」文化の衰退とそこから生まれる池の水質悪化、放置竹林増加などの環境問題、また地元産業を知る人の減少や子どもと地域の関わり不足などの産業や社会問題などがある。こうした環境問題を解決していく中で、地元産業を1次産業から3次産業までの流れや池もみについて体験し、学び伝え、子どもと地域の関わり増加や地域活性化を目指していきたいと考えた。そこで、放置される「竹林」と「ため池」の整備をしながらも、そこから生まれる「竹」や「土」、「死んだ魚」を肥料や資源として活用。その肥料を使って刈谷市北部の名産物である大根とぶどうを育て、加工し、販売していく。従来の6次産業に環境整備活動をプラスした7次産業を通して資源を循環させながら、洲原の環境を守り、伝統や産業を伝え、学んでいく場を提案をする。竹管理場や加工室、厨房などのハード面を持つ場合は木造の常設施設。寿命の短い竹は仮設施設へと展開し、常設施設を緩やかに繋げる。使えなくなった竹は「竹パウダー」として粉砕し、肥料として活用。無駄な資源を生み出さない環境保全が促進され、好循環が生まれる洲原を目指す。



裏表紙:日本建築学会巡回作品(都築 萌)



裏表紙:愛知建築士会提出作品(坂井 優太)

## ※題字 故中田 武教授

## 令和5年度役員

|               |                |             |                |             |               |
|---------------|----------------|-------------|----------------|-------------|---------------|
| 名誉会長          | 石井 仁教授 (建築学科長) | 参与          | 秦 和久 (昭和30卒)   | 常任幹事        | 杉村 竹次 (昭和48卒) |
| 学内幹事          | 平岩 陸           | 参与          | 坂崎 日支夫 (昭和35卒) | 常任幹事        | 荒木 衛 (昭和58卒)  |
| 会長            | 鈴木 千春 (昭和54卒)  | 参与          | 鈴木 寛 (昭和34卒)   | 常任幹事        | 三浦 彩子 (平成8卒)  |
| 副会長(総務)       | 大橋 裕一 (昭和56卒)  | 参与          | 安藤 洋 (昭和41卒)   | 総務副委員長      | 鈴木 賢三 (昭和55卒) |
| 副会長(財政)       | 磯野 信秀 (昭和47卒)  | 総務委員長       | 稲垣 友彦 (平成6卒)   | 財政副委員長      | 駒 秀夫 (昭和45卒)  |
| 副会長(事業・経済)    | 伊藤 正樹 (平成14卒)  | 財政委員長       | 深谷 晴彦 (昭和60卒)  | 会報・名簿・IT委員長 | 深谷 光秀 (昭和53卒) |
| 副会長(会報・名簿・IT) | 安井 真 (昭和48卒)   | 事業・経済委員長    | 岡本 裕太 (平成19卒)  | 組織副委員長      | 佐藤 勝巳 (昭和59卒) |
| 副会長(組織)       | 安田 博幸 (昭和52卒)  | 会報・名簿・IT委員長 | 三宅 賢二 (平成4卒)   | 城友会会長       | 渡邊 達也 (平成7卒)  |
| 監 事           | 岡野 廣海 (昭和50卒)  | 組織委員長       | 伊藤 栄基 (平成7卒)   | 岐阜支部長       | 河村 彰雄 (昭和40卒) |
| 監 事           | 山中 弘 (昭和53卒)   | 会 計         | 松岡 豊 (昭和48卒)   | 名古屋支部長      | 大井 俊明 (昭和47卒) |
| 相談役           | 加藤 哲也 (昭和38卒)  | 常任幹事兼相談役    | 石川 豊 (昭和47卒)   | 尾張東支部長      | 駒 秀夫 (昭和45卒)  |
| 相談役           | 廣瀬 敏郎 (昭和44卒)  | 常任幹事        | 鈴木 善徳 (昭和43卒)  | 西三河支部長      | 深谷 光秀 (昭和53卒) |
| 相談役           | 岩崎 征一 (昭和41卒)  | 常任幹事        | 谷田 真 (平成7卒)    | 東三河支部長      | 山本 利州 (昭和37卒) |
| 相談役           | 小木曾森司 (昭和48卒)  | 常任幹事        | 大塚 貴弘          |             |               |

### 理工同窓会役員

|       |            |
|-------|------------|
| 副 会 長 | 鈴木 千春      |
| 幹 事   | 安井 真 稲垣 友彦 |
| 監 査   | 石川 豊       |

### 評 議 員

|       |       |
|-------|-------|
| 磯野 信秀 | 大井 俊明 |
| 鈴木 賢三 | 岡野 廣海 |
| 岩崎 征一 |       |

### 校友会役員

|         |           |
|---------|-----------|
| 副 会 長   | 下地 康夫     |
| 理 事     | 石川 豊 (議長) |
| 常 任 理 事 | 安井 真      |